

# 平群

Heguri

≡ 議会だより

8月臨時会・9月定例会

No.278

令和2年11月1日

発行:奈良県平群町議会

## 第4回臨時会(8月)・第5回定例会(9月)

|              |         |
|--------------|---------|
| 議決結果・質疑あれこれ  | …P2~6   |
| 議会の動き・議員提出議案 | …P7     |
| 決算審査特別委員長報告  | …P8~11  |
| 町政を問う! 一般質問  | …P12~17 |
| お知らせ         | …P18    |



まちのみんなの憩いの場  
(新しく開館した平群町立図書館)

# 第4回臨時会 こんなことが決まりました

令和2年8月7日に第4回臨時会が開催されました。提出された議案の審議内容とその結果を紹介します。

## 議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

| 提出区分   | 議案名                            | 議決結果 | 岩崎真滋 | 長良俊一 | 山本隆史 | 井戸太郎 | 稲月敏子 | 植田いずみ | 山口昌亮 | 山田仁樹 | 窪和子 | 下中一郎 | 馬本隆夫 | 森田勝              |
|--------|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|------------------|
| 町議長案提出 | 令和2年度平群町一般会計補正予算(第4号)について      | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | 議長は採決に<br>加わりません |
|        | 令和2年度平群町学校給食費特別会計補正予算(第2号)について | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    |                  |

**答弁** プレミアム商品券の発行は、3万8000冊で、事業費は国の地方創生交付金と県補

**質問** プレミアム商品券の発行の流れは。

### 主な質疑

主に国の第2次補正「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、地域経済や住民生活を支援するための町独自の支援を行うもの。

### 令和2年度一般会計補正予算(第4号)

## 質疑あれこれ

8月臨時会に上程された議案及び質疑を紹介します。

## 町議会をネットで視聴できます。



平群町議会は、本会議の様態をインターネットで録画配信していますが、スマートフォンでも視聴が可能になっております。町のホームページもしくはQRコードからアクセスできます。



助金4750万円をあわせ、1億1500万円となる。事務費はかかるが、約2億円の消費喚起を目的に選択した。



商品券の内訳は5000円の商品券を住民1人当たり2冊まで購入できそのうち、4000円は大規模店舗、大型のスーパー等も含めて使える共通券で、1000円は、町内の比較的小さな小売店舗にだけ使えるという券を1000円分つける。よって、5000円分の商品券全て小売店舗で使うこともできる。

全町民には、住民基本台帳のデータを基に、申込書等の案内を送付する。

**質問** Wi-Fiの整備工事費に1100万円計上しているが、設置場所は。

**答弁** 感染症などに強い防災拠点の整備を図るといふ目的で4力所に設置する。具体的には災害対策本部となる役場本庁舎と、避難場所であるボランティア拠点となるプリズムへぐり、物資等が集合する位置付けのスポーツセンターと、福祉避難所であり、日頃から自主避難のときにも開設している一番最初の避難所となる、かしのき荘である。



**質問** 避難所となる体育館等にエアコンの設置をどのように考えているのか。

**答弁** エアコンは費用面から高額になるため、超大型気化式冷風機（縦、約170センチ、横、約1メートル）で、サブアリーナでは2台でかなり冷えるため、今のところ、10台程度購入し、必要な所には置き、使い

方を協議したい。

また、赤外線ヒーターについて普通のジェットヒーターで、灯油等を入れながら温めるようなヒーターを幾つか購入する予定である。

**質問** 新生児出生特別定額給付金の申請方法は。

**答弁** 4月28日以降から8月7日までに出生された17世帯18人の方には、申請書を郵送するが、以降翌年3月末までに出生される方は、住民生活課のほうに出生届が出されるときに窓口で申請書を記入頂く。

**質問** ICT教育の整備とオンライン授業の進捗状況は。

**答弁** 今回、大型モニター35台を購入し、各学校の普通教室等に配備する。

5月臨時会で専決された500台のLTE端末は、予定どおり、7月に150台が納品され、残り350台も9月末頃には納品される予定である。

まず、現在納品された150台は、各小中学校の全ての先生方がオンライン学習ができるよう、各小中学校の専門教員を中心に、オンライン研修を積み重

ねている。今後、さらなるコロナの感染拡大にも対応できるように準備を進めている。

**質問** 国の学校保健特別対策事業費国庫補助金が4校で600万円予算計上しているが、スポットクーラーや体育館用の扇風機の活用方法は。

**答弁** スポットクーラーは各学校の給食配膳室に配備する。

熱中症やコロナの換気対策として移動式で大型ファンの扇風機を、各小中学校の体育館に4台ずつ配備し、学校開放のときにも使用できるように考えている。



**質問** 公共施設の3密対策の整備について。

**答弁** 役場庁舎で645万2000円予算計上しており、そのうちの約260万円は議場改修費である。

**質問** 学校トイレの消毒業務について。

**答弁** 学校トイレの消毒委託料として、各小中学校毎に60万円の予算を計上しており、専門的な業者に委託をし、翌年3月末までの期間を実施したい。



**質問** 緊急経済対策の進捗状況は。

**答弁** セーフティネット関係の融資を認定したのが、合計で115件。そのうち、個人事業主が51件、法人が64件で1次補正分では、これを要件として事業継続支援金が創設されて申請済みが75件、法人で44件、個人で31件である。それに関連して継続支援金を申請されたのが75件という現状である。

社協の貸付申請の受付件数は、8月5日現在で、緊急小口資金に47件、総合支援資金38件、合計85件です。重複で申請されている方が32件である。

税金の徴収猶予については申請が32件でそのうち、受け付けたのが19件である。

**質問** 次亜塩素酸水の配布状況は。

**答弁** 6月16日からプリズムへぐりにおいて、ドライブスル方式で配布している。多いときで100本位。また本庁舎にも設置し、文化センターやかしのき荘でも活用されている。経産省が効果があると発表しており、更にPRし、継続していきたい。

## 令和2年度学校給食費特別会計補正予算（第2号）

学校の臨時休業に伴い、夏期期間中の学校給食を2カ月相当分の無償化を行う。



# 第5回定例会 こんなことが決まりました

第5回定例会は9月2日～24日まで23日間の会期で開かれまし  
た。

初日は、町長提出の23案件が上程され審議。このうち12件は即決し、昨年度決算認定案件11件は決算審査特別委員会(7日、8日)に付託して審議しまし  
た。

一般質問は14・15日に行い、11名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、決算審査特別委員会の審査結果報告をうけて採決を行いました。また、議員発議の意見書5件が上程され、審議・採決しまし  
た。



## 議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

| 提出区分                              | 議案名   | 議決結果 | 岩崎真滋 | 長良俊一 | 山本隆史 | 井戸太郎 | 稲月敏子 | 植田いずみ | 山口昌亮 | 山田仁樹 | 窪和子 | 下中一郎 | 馬本隆夫 | 森田勝 |   |
|-----------------------------------|---|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|-----|------|------|-----|---|
| 町長提出議案                            | 平群町税条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について                        | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例について  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 平群町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について                                      | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 平群町介護保険条例の一部を改正する条例について   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 令和2年度平群町一般会計補正予算(第5号)について   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和2年度平群町介護保険特別会計補正予算(第1号)について                                       | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 平群町道路線の廃止について   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 平群町道路線の認定について   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 生駒線平群第1号踏切道歩道設置工事協定の締結について  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 町道鳴川路線拡幅事業に伴う土地の取得について  | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて  | 原案承認 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について   | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                     | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                   | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について                                      | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                       | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                   | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
|                                   | 令和元年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                                    | 原案認定 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○ |
| 令和元年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
| 令和元年度平群町水道事業会計決算の認定について           | 原案認定  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
| 令和元年度平群町下水道事業会計決算の認定について          | 原案認定  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
| 議員提出議案                            | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)                   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書(案)   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●     | ●    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | 精神障がい者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書(案)                                       | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | PCR検査の拡充に財政支援を求める意見書(案)   | 原案可決 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   |   |
|                                   | コロナ危機のもと、全ての小中高等学校における20人程度の少人数学級実現と、特別支援学校における設置基準を設けることを求める意見書(案) | 否決   | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○   | ○    | ●    | ●   | ● |

議長は採決に加わりません

# 質疑あれこれ

9月議会に上程された議案及び  
質疑を紹介します。

## 平群町税条例の一部を改正する条例について

未婚のひとり親に対する控除の改正、長期譲渡所得に係る課税特例、町たばこ税の課税標準の見直し、法人町民税の連結納税の廃止、延滞金の割合等の特例の改正を行うもの。

### 主な質疑

**質問** 個人住民税のひとり親控除について。

**答弁** すべてのひとり親家庭に対して、公平な税制を実現するという観点から婚姻歴による

不公平や、男性のひとり親と女性のひとり親の間の不公平を解消するための改正である。

所得500万円以下であれば、住民税は令和2年度分までは26万円の控除であったが、令和3年度分から30万円の所得控除を適用する。

**質問** 長期譲渡所得にかかる個人の町民税の課税特例とはどういったものなのか。

**答弁** 今回の改正は、個人が令和2年7月1日から令和4年12月31日の間に土地とその上物の取引額の合計価格が500万円以下で長期譲渡所得に該当する低未利用土地を譲渡した場合はその長期譲渡所得から100万円を控除するというものである。特例制度を設けることで低未利用土地の利用促進の効果があると考える。

## 町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

租税特別措置法の改正に伴い延滞金特例基準割合に名称変更を行うもの。

### 主な質疑

**質問** 延滞金の利率に変更はあるのか。

**答弁** 利率については変わっていない。



## 令和2年度一般会計補正予算(第5号)について

平群西小学校跡地の地質調査、戸籍システム改修、王寺周辺広域休日応急診療所の新型「 $\square$ 」対策施設改修等を行うもの。

### 主な質疑

**質問** 令和2年度の収支見込みはどのようになっているのか。

**答弁** 令和元年度決算を受け、繰越金1億6600万円程度の増額、また普通交付税の算定に伴い地方特例交付金や普通交付税、臨時財政対策債の増額

で歳入は2億6700万円程度の増額補正により、当初予算に計上していた2億1300万円の未確定財源を解消した上で予算ベースとして約5000万円を財政調整基金に積み立てる結果になった。

今後、令和2年度で特段の財政出動がなければ一定の不用額も加味して約数千万円程度の赤字は見込めると推測している。

ただ駅周事業の終結に向けた損失補償の財源手当てに苦慮しており、今後令和2年度の補正予算に計上するが、その額によつては現在のところ赤字決算の可能性も念頭に置きながらシミュレーションを立てているところである。今後も更に慎重な財政運営に努めてまいりたいと考えている。

**質問** 普通交付税と臨時財政対策債合わせて1億円程度、当初予算より増額している要因は。

**答弁** 一点は、普通交付税の当初予算計上額21億円と比較して補正予算後、7852万4000円が増額。要因は、地域社会再生事業費が3100万円増額。地域の元氣創造事業費が16

00万円程度の増額。包括算定経費が1200万円と増額等による。

もう一点、令和元年度10月から消費税引き上げに伴う幼児教育の無償化に対する交付税措置により、令和元年度算定、令和2年度算定を比べると、社会福祉費で8300万円増額している。こういった普通交付税の算定等の詳細はわからないが、基準財政需要額としては約1億円程度が算入されていると理解している。

**質問** 旧西小学校の調査業務とはどのようなものか。

**答弁** 旧西小学校の敷地安全に係る調査費として、500万円を計上。体育館裏の南側の現況測量を行い、傾斜面の土質調査に基づき、地盤の安全性を確認するもの。

次頁へ続く



調査後、日本建築あと施工アンカー協会と旧西小学校の施設利用にあたりどのような改修工事が必要な改修費について、体育館等の必要な改修費については協会側で負担する。利活用にあたって旧西小学校が市街化調整区域のため、用途変更を都市計画法に基づき県と協議を進める中で、旧西小学校の敷地、擁壁を含むものが現行法令に照らして的確かどうかを判断し確認する必要があるという県の指導もあり、今回このような調査を行うものである。

アンカー協会としては旧西小学校を研修センターとして位置付けられており、常設の試験会場や講習会場として利用する意向を示されている。その上で特に体育館の南側の敷地の安全性を確認する必要がある。

調査の結果、行政側とアンカー協会側がどのような役割分担をしていくか、費用面についてもできる限り行政側の負担が最小限に抑えられ利活用がうまく進むように今後も協議を進めてまわりたい。

**質問** 町制50周年に向けての取り組みは。

**答弁** 来年の2月1日に50周年を迎える取り組みの一環として、ロゴマークパターンA、パターンBと2種類作製し、今後、印刷物、刊行物等に利用してまいりたい。何か形になるものを残し、町民に見てもらえるようなものを検討している。



**介護保険特別会計補正予算(第1号)**

人件費の減額と令和元年度の給付費等の確定に伴うもの。

**主な質疑**

**質問** 8期の保険料軽減に、どれだけ基金を取り崩す予定をしているのか。

**答弁** 基金の取り崩し額は、

一定必要と考える。今、約4億4千万円位の基金があるが、保険料を一度にたくさん下げると、今後9期のときに大きく上がる可能性もあるので、それについては策定委員会で検討していきたい。ただマイナスになることはできないので、一定の基金は必要と考えている。

**町道路線の廃止について**

民間開発に伴い廃止を行うもの。

**主な質疑**

**質問** 町道認定を廃止したあと、登記権利上はどのようなか。

**答弁** 町道を廃止すれば里道になる。里道を用途廃止をして、行政財産から普通財産として売却できる。

**生駒平群第1号踏切歩道設置工事協定の締結について**

踏切歩道設置のため、近畿日本鉄道(株)と契約を行うもの。

**主な質疑**

**質問** 1億1639万7千円の財源内訳は。

**答弁** 当初、9300万の予算措置をしていたが、近鉄と協議する中で追加の安全対策として障害物の検知装置等々で2339万7千円膨らみ、工事の協定額は1億1639万7千円となった。財源として当初の9300万円は国庫補助が社会資本総合整備交付金で55%、残りの分を公共事業債で100%充当。国庫補助が5115万、起債が4185万。追加になった2339万7千円は、地方道路整備事業債100%。これは交付税算入できない。



**町道鳴川路線拡幅事業に伴う土地の取得について**

土地の売買契約を締結するもの。

**主な質疑**

**質問** 買収後の工事着手時期は。

**答弁** 鳴川道の総延長は500メートルで、今回の買収延長が220メートル。将来的に西山麓線と同じ道路で緑ヶ丘まで広げる計画だが、買収地の中で一番の狭隘区間を、工事というよりは、木の伐採をして見通しをよくし、とりあえずは非常に危ないところを若干広げ、計画的に実施していきたい。



## 議会の動き

### 議会運営委員会

※令和2年平群町第5回定例会の議会運営について

8月20日

### 公共交通対策特別委員会

※コミュニティバス運行事業及び新たな交通手段導入検討について（アンケート結果を踏まえて）

9月23日

### 総務建設委員会

※執行後における政策評価について

9月4日

### 文教厚生委員会

※執行後における政策評価について

9月4日

### 全員協議会

※町道鳴川路線の拡幅に伴う用地買収について

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第2次）について

7月21日

## ご意見お寄せください

本紙へご意見をお寄せください。

今後の紙面作りに活用させていただきます。

\*F A X 49-0145

\*メール gikai@town.heguri.nara.jp

## 議員提出議案

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)

提出者 井戸太郎

賛成者 窪 和子

(原案可決)

地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書(案)

提出者 窪 和子

賛成者 井戸太郎

(原案可決)

精神障がい者への交通運賃割引制度の適用を求める意見書(案)

提出者 山本隆史

賛成者 長良俊一

(原案可決)

PCR検査の拡充に財政支援を求める意見書(案)

提出者 山本隆史

賛成者 岩崎真滋、長良俊一、井戸太郎、  
稲月敏子、植田いずみ、山口昌亮、  
山田仁樹、窪 和子、下中一郎、  
馬本隆夫

(原案可決)

コロナ危機のもと、全ての小中高等学校における20人程度の少人数学級実現と、特別支援学校における設置基準を設けることを求める意見書(案)

提出者 稲月敏子

賛成者 山口昌亮、植田いずみ

(否決)

## 人権擁護委員候補者の推薦

中村 高士 氏

住所 平群町大字梨本

中村高士氏は適任であるとの

意見で答申することに決しました。



# 令和元年度 各会計 決算審査特別委員長報告

## 一般会計

### 《歳出全般》

**質問** コロナ禍で各種団体の補助金に対して来年度どのように考えているのか。

**答弁** 運営費、イベント実施等、予算編成の段階で担当課と協議し編成していきたい。

### 《議会費・総務費》

**質問** 広報紙の委託も含めた配布方法の見直しについて。

**答弁** 自治会で配布作業が大変なところは、分散配布するなど検討する。

**質問** 広域的災害等に備えるうえで建築関係の町内業者の今後の育成・確保について。

**答弁** 平成20年は51社、令和2年には32社と19社減少。要因として、公共工事の絶対数が減少し、後継者問題や経営のやり方も変わってきている。育成・確保のため町内業者が受注できるように発注の見直しも検討したい。

**質問** コミュニティバスの費用を明確化すべきではないか。

**答弁** 運賃収入を見込んでの運行費用を予算計上し、最後に出来高払いで精算している。NCバスとも協議し、より明確・明瞭になるよう検討していく。

### 《民生費》

**質問** こども園の待機児の年齢と人数は。

**答弁** 0歳児2名、1歳児1名、2歳児2名、5歳児1名である。

**質問** 待機児の入園希望の理由は。

**答弁** 主に育児休業からの復帰、仕事の都合などである。

**質問** 一時保育の実態についてどうか。

**答弁** 創意工夫しながら受け入れを行っている。受け入れ人数枠等もあり十分満足していただけない部分もある。

### 《衛生費・労働費》

**質問** 斎場の経年劣化に伴う改修等をどのように考えているのか。

**答弁** 今後もエアコンや炉のコンピューター制御盤の入れ替え、炉の積み替え等に1000万円単位が必要となり財政と相談して行っていく。

### 《農林水産業費・商工費》

**質問** 林地開発や土砂等による土地の埋立てのパトロールの現状は。

**答弁** 毎月1回、職員2名で調整池をメインに立ち入り検査

を実施している。

### 《土木費・消防費》

**質問** 竜田川遊歩道の元山山口駅から北の馬鋸淵（まぐわぶち）付近までの整備の見直しは。

**答弁** 整備の要望がある。境界で一部筆界の未定地域の解決ができれば将来的に遊歩道を整備していきたい。

**質問** 消防団の定員74名に対し現在の団員数と若い団員の確保はどうか。

**答弁** 第1分団17名、第2分団19名、第3分団21名と本部7名の合計64名。各分団とも世代交代に向けた若い団員の確保や定員確保に苦慮。引き続き努力していきたい。



### 《教育費》

**質問** 町民体育大会が高齢化等の問題もあり、近隣町では中止したところもある。見直しに

ついでの考えはどうか。

**答弁** 次年度の開催に向けて見直し検討委員会的なところで検討していきたい。

**質問** 学校施設のトイレの改修の予定をどのように考えているのか。

**答弁** 現段階の予定は、来年度中学校に多目的トイレの設置を考えており、それ以降は老朽化の度合いで、事業化できるよう協議を進めている。

### 《災害復旧費》

**質問** 災害復旧費の国の補助金が増額された理由は。

**答弁** 通常65%の補助金が激甚災害に指定され、97%になった。

### 《歳入全般》

**質問** 名倉興産、協栄ソーラーの道路占用料の内容は。

**答弁** 名倉興産は現場に入るまでの道路の法面の部分を占用。協栄ソーラーは、許可を出した時点から占用料が発生する。

## 反対討論

平成31年度当初予算は実質単年度収支が約6億円の赤字予算で組まれ、決算は1億3962万4千円の黒字となった。要因は地方交付税が1億2500万円の増額、駅周事業の清算交付金が2億円入り、駅周組合への赤字補填分、町単独補助金2億円を一般財源から駅周整備事業債に振り替えた等で、当初予算の未確定財源が帳消となった。また町財産の売り払い収入4100万円、一般財源の不用額が1億円近くになったもので、決して健全財政とは言えない。過去10年間で起債は大幅に増大し、毎年11億円の返済状況である。今すべきは平群の魅力である大阪への地の利の良さ、美しい緑に囲まれた子育てに抜群の環境を失わないこと。

## 賛成討論

人口増加を促進する定住化促進奨励金や地域防災計画の修正、西和5町での病児保育所の開設など住民の安全や暮らしを守るため誠実に取り組んできた。財政面では、3年連続の実質単年度収支の赤字から脱却したが、財政健全化の面では実質公債費率16.1%や将来負担比率241.3%と悪化。再調査・再研究し新たな町債の発行を抑え、町債残高全体の縮減をお願いし、本決算には賛成する。

令和2年度予算計上されていない駅周事業の多額な損失補填が見込まれ、財政危機が想定される。厳しい財政状況の中、国庫補助金など有利な条件で総合文化センターが建設された。高校卒業までの子ども医療費無償化や保育教諭2名の採用、令和2年度は5名の採用でこども園の運営が確保された。財政確保が難しく、今後も民間感覚を意識した予算執行と安易な流用は慎むべき。限られた予算を将来のまちづくり、福祉施策などに最大限活用されたと評価し本決算には賛成する。

## 住宅新築資金等 貸付事業特別会計

**質問** 令和元年度末の起債残高と滞納状況はどうか。

**答弁** 起債残高は519万8504円、滞納分は宅地部分2545万2899円、住宅部分4323万688円、合計6868万3587円で、債務者は16名で31件。

## 国民健康保険 特別会計

**質問** 令和元年度の現年の滞納が増えた原因の分析は。

**答弁** 現在分析できておらず改めて精査したい。

**質問** 当初予算では予備費2千万円が実質単年度収支の黒字要因だったが、決算は6284万円の黒字の要因は何か。

**答弁** 被保険者数はほぼ変わらないが、所得が増えたことで保険税収入が4500万円程度



増えたことではと考える。

**質問** 新型コロナウイルスによる保険税の猶予・減免・傷病手当の状況はどうか。

**答弁** 相談が20数件、猶予の申請が1件、減免は11件決定しており決定額は約200万円。傷病手当の申請は現在0件。

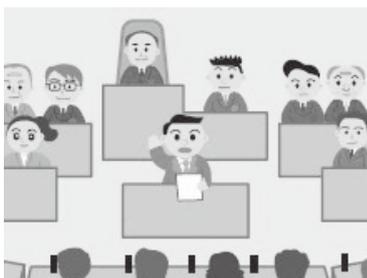
## 反対討論

平成30年度から国保の県単位化が始まり国保税率は県の納付金に見合った税率で収支のバランスがとれるようになった。それはこの2年間の決算からも明らかである。平成29年度の国保税1.6倍の増税が引き上げすぎたことを具体的な数字も示し引き下げを求めてきた。令和2年度から引き下げをされたことは一定評価する。しかし本決算は1.6倍に引き上げられたもとの決算であることから反対する。

## 賛成討論

実質単年度収支は6284万円の黒字。年度末剰余金は1億2941万円に増額となった。県単位化2年目の不安定な状況の中、税率を変えず予算執行され健全な財政運営をされたことから本決算に賛成する。

今年度は次年度からの県国保運営方針の中間見直しが行われる。見直しについて高度医療による医療費上昇分が上乘せされと納付金上がる可能性がある。今後の新型コロナウイルスの影響も注視が必要。令和元年度も剰余金の積み増しができ、国保財政の安定化につながる。ことから本決算に賛成する。



## 農業集落排水事業 特別会計

**質問** 令和元年度の接続件数は。

**答弁** 0件である。

**質問** 今後の会計のあり方をどう考えているのか。

**答弁** 現在、国から令和5年度までに公営企業会計への移行をいわれている。国の動向も含め一般会計へ編入か公営企業会計へ移行かを検討したい。

## 学校給食費 特別会計

**質問** 決算で赤字の内、町単独費用はいくらになるのか。



**答弁** 国庫補助の学校臨時休業対策費補助金等で補填され、町の負担は約15万円となる。

## 介護保険 特別会計

**質問** 令和元年度の被保険者数と基金残高は。

**答弁** 令和元年10月時点で7068人、基金残高4億3887万6030円である。

**質問** 基金残高が被保険者のほぼ1年間の保険料総額に匹敵する。第8期の保険料について、の考えは。

**答弁** 積み上げた基金を活用した保険料見直しについて考えていきたい。

### 反対討論

令和元年度の剰余金残高は4億3887万円。これは1号被保険者の1年分の保険料にほぼ匹敵する。適切な保険料に見直すべきと条例提案も含め引き下

げを求めてきたが、1期(3年間)の途中での変更はしないとの方針を続けた結果がこの状態である。介護保険は健康保険のように全ての人が必ず利用するとは限らない。そのため剰余金も多くは残さず、適正な保険料額が求められる。よって本決算に反対する。

### 賛成討論

決算では基金残高が約4億4千万円となった。今後、少子高齢化が進めば給付費の上昇の可能性は高い。それを踏まえても引き続き安心してサービスを利用できる状態にある。基金残高を加味した上で保険料抑制を協議されるところから本決算に賛成する。

介護保険法第117条に基づき市町村は基本指針に則して3年を1期とする保険給付の円滑な実施計画を定めることとしている。高額な剰余金を活用した第8期の保険料見直しに期待をし、本決算に賛成する。

## 令和元年度 一般会計・特別会計決算

(△はマイナス 単位：円)

| 会計区分     | 歳入総額          | 歳出総額          | 歳入歳出差引額       | 翌年度へ繰り越す財源  | 実質収支額       |             |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計     | 8,403,689,718 | 8,224,185,749 | 179,503,969   | 12,689,000  | 166,814,969 |             |
| 特別会計     | 住宅新築資金等貸付事業   | 10,727,672    | 6,048,072     | 4,679,600   | -           | 4,679,600   |
|          | 国民健康保険        | 2,430,355,327 | 2,329,945,130 | 100,410,197 | -           | 100,410,197 |
|          | 農業集落排水事業      | 35,772,559    | 35,772,559    | 0           | -           | 0           |
|          | 学校給食費         | 55,537,944    | 56,599,309    | △1,061,365  | -           | △1,061,365  |
|          | 介護保険(保険事業勘定)  | 1,895,245,639 | 1,817,647,601 | 77,598,038  | -           | 77,598,038  |
|          | 奨学資金貸付事業      | 251,000       | 251,000       | 0           | -           | 0           |
|          | 後期高齢者医療       | 397,558,225   | 397,141,925   | 416,300     | -           | 416,300     |
| 用地先行取得事業 | 13,515,564    | 13,515,564    | 0             | -           | 0           |             |

## 後期高齢者医療 特別会計

**質問** 人間ドックの将来展望は。

**答弁** 令和元年度は175名の受診者で、非常に高い受診件数である。ただ国の特別調整交付金や広域連合からの健康診査分の関係で、町の持ち出しも半分以上になっていくと思われる。

## 水道事業会計

**質問** 県域水道一体化の進捗状況は。

**答弁** 来年1月頃に統合に関する覚書を締結予定であり、それまでに議会への説明を予定している。令和3年度から統合に向けた作業が進められ、令和6年度までに基本協定を締結し企業団設立。令和7年度から事業統合して事業を開始予定である。

**質問** 耐用年数の過ぎた中央監視装置の更新は。

**答弁** 令和4年度に事業する団体には交付金があるので、令和3年度で設計委託し、令和4年度で工事をした。

## 下水道事業会計

**質問** 緑ヶ丘地区の公共下水道への接続の進捗状況は。

**答弁** 令和2年度1地区の不明水調査をし、それに基づく管更生工事を行ない令和3年度に流量調査をする。その資料で県と協議をするのと併せ、次の地区も同様に進め、3地区を順次接続していく。最終は令和6年3月を目途にこころい。

## 用地先行取得 事業特別会計

## 奨学資金貸付 事業特別会計

以上、11件の一般会計・特別会計・事業会計については認定することに決しました。

決算審査特別委員会

委員長 植田いずみ



各議員の一般質問ページに掲載のQRコードをスマートフォンで読み取ると、インターネット録画中継のページへとリンクします。※動画の視聴には、大容量のデータ通信量が発生しますので、Wi-Fiまたは定額通信サービス環境での視聴を推奨します。

### 水道業務実績

|        | 単位             | 令和元年度     | 平成30年度    | 比較       |
|--------|----------------|-----------|-----------|----------|
| 給水件数   | 件              | 8,044     | 8,013     | 31       |
| 年間総配水量 | m <sup>3</sup> | 2,258,503 | 2,259,604 | △ 1,101  |
| 内自己水   | m <sup>3</sup> | 0         | 0         | 0        |
| 内県営水道  | m <sup>3</sup> | 2,258,503 | 2,259,604 | △ 1,101  |
| 年間有収水量 | m <sup>3</sup> | 1,867,083 | 1,887,619 | △ 20,536 |
| 有収率    | %              | 82.7      | 83.5      | △ 0.8    |

※有収率…料金収入を得た割合(年間有収水量/年間総配水量×100)

### 水道決算状況(税込)

(単位:円)

|       |    | 令和元年度        | 平成30年度       | 差引           |
|-------|----|--------------|--------------|--------------|
| 収益的収支 | 収入 | 490,179,002  | 539,189,859  | △ 49,010,857 |
|       | 支出 | 559,924,018  | 620,195,899  | △ 60,271,881 |
|       | 差引 | △ 69,745,016 | △ 81,006,040 | 11,261,024   |
| 資本的収支 | 収入 | 29,401,680   | 71,547,379   | △ 42,145,699 |
|       | 支出 | 65,969,088   | 102,268,650  | △ 36,299,562 |
|       | 差引 | △ 36,567,408 | △ 30,721,271 | △ 5,846,137  |

### 下水道業務実績

|         | 単位             | 令和元年度     | 平成30年度    | 比較    |
|---------|----------------|-----------|-----------|-------|
| 処理区域面積  | ha             | 183.05    | 179.39    | 3.66  |
| 行政区域内人口 | 人              | 18,771    | 18,837    | △ 66  |
| 処理区域内人口 | 人              | 10,257    | 10,266    | △ 9   |
| 普及率     | %              | 54.6      | 54.5      | 0.1   |
| 水洗化人口   | 人              | 9,573     | 9,624     | △ 51  |
| 水洗化率    | %              | 93.3      | 93.7      | △ 0.4 |
| 年間有収水量  | m <sup>3</sup> | 1,033,193 | 1,028,016 | 5,177 |

※普及率…(処理区域内人口/行政区域内人口×100)  
※水洗化率…(水洗化人口/処理区域内人口×100)

### 下水道決算状況(税込)

(単位:円)

|       |    | 令和元年度        | 平成30年度       |
|-------|----|--------------|--------------|
| 収益的収支 | 収入 | 333,037,786  | 329,612,224  |
|       | 支出 | 386,986,367  | 391,384,627  |
|       | 差引 | △ 53,948,581 | △ 61,772,403 |
| 資本的収支 | 収入 | 311,463,000  | 294,244,000  |
|       | 支出 | 310,023,991  | 294,211,013  |
|       | 差引 | 1,439,009    | 32,987       |

# 町政を問う! 一般質問一覧

|      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| 馬本議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 矢田山に（仮称）東西線の道路建設を</li> <li>2. 人権交流センター移転に伴う覚書について</li> <li>3. 総合スポーツセンターグラウンドを人工芝化に</li> <li>4. 保留地処分に伴う損失補償等について</li> <li>5. 公共交通空白地域解消を</li> </ol>                | 山口議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 椋原地区のメガソーラー建設計画について</li> <li>2. デマンドタクシー導入について</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症のPCR検査体制について</li> </ol>                              |
| 窪 議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 罹災証明書の迅速な発行について</li> <li>2. 被災者支援システムを活用した全職員研修の実施を</li> <li>3. 期日前投票所の拡充について</li> </ol>  | 下中議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町制施行50周年に向けての取り組みについて</li> <li>2. 地方創生総合戦略の今後について</li> </ol>  |
| 長良議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公立学校教育の充実について</li> <li>2. 町道路線の維持管理について</li> <li>3. 空き家対策について</li> <li>4. コロナ禍における災害対策の取り組みについて</li> <li>5. 産業支援について</li> <li>6. コロナ禍における行政情報の発信と、広聴について</li> </ol> | 山本議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平群町自主防災組織の育成について</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うごみ収集等について</li> </ol>   |
|      |   | 稲月議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小規模住宅団地開発に伴う環境整備について</li> <li>2. 山谷の保全について</li> <li>3. 可燃ゴミ減量化について</li> </ol>   |
|      |   | 山田議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内道路の維持補修・歩道整備について</li> <li>2. 農業就労者の求人広告掲示板の設置について</li> </ol>  |
| 植田議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町民すべてを対象にしたプレミアム商品券に</li> <li>2. 全ての小中学校や学童保育所、こども園の水道カランを非接触型に</li> <li>3. 新型コロナとインフルエンザの同時流行の対策について</li> </ol>  | 岩崎議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ふれあい収集の状況と今後の推移について</li> </ol>  |
|      |   | 井戸議員 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 来たるべき日に備え、平群町独自で非常事態宣言を出せるように条例制定を</li> <li>2. オンライン授業が実際に行える時期までのプロセスについて</li> <li>3. リサイクル価格急落における有価物補助金の引き上げを</li> </ol> |

総合スポーツセンターはH8年度に全施設がオープンをしました。現在の体育施設管理運営は平群町地域振興センターに指定管理されておりま

## 質問



グラウンドを人工芝化すれば大人コート1面、少年用コート2面のサッカーコートができ、多目的競技場としても利用できます。総事業費8800万円は、地域振興セ

センターが予算化されました。よって平群町には財政上の負担はありません。人工芝化すべきと昨年9月議会で一般質問を行いました。



馬本 隆夫



## 総合スポーツセンター グラウンドを人工芝化に

プールの駐車場、スパイク使用の問題等、地域振興センターと詰め切れていない。しかし町の財源が必要でない事業であり問題点がクリアされれば賛成との回答でした。1年が経過を致しました。進捗状況と今後の取り組みについて。

## 答弁

町内の主要なスポーツ団体に意見聴取を行った。異論がなかったが、「多目的グラウンドであること、料金設定が高額にならないように」等の意見がありました。次年度にウオーターパーク及びグラウンドの人工芝化を含めた、総合スポーツセンターの在り方を調査研究する為の予算確保に努める。

# 期日前投票所の拡充について



窪 和子



## 質問

本町における選挙の投票率は、令和元年7月参院選では56.24%で、若年層も低下傾向にある一方、期日前投票所の投票率は向上しており、投票しやすい環境整備が求められます。

①次の選挙から投票区及び投票所が14力所から10力所への変更に伴い、移動手段も含めどのような対応を検討しているのか。



②期日前投票所のコロナ感染症対策は。  
③特に利用者が一番多く見込まれる大型商業施設「イオンビック」での期日前投票所の拡充をお願いし検討すべきでは。

## 答弁

①投票所が変更となる、鳴川、櫛原、福貴畑、久安寺、信貴畑、信貴山の大字や自治会に、選挙当日、午前1回、午後2回に町バスか公用車の送迎を行い、周知徹底したい。

②期日前投票所のコロナ対策として、次回執行の選挙より、総合文化センターでの実施を検討している。

③投票率低下の打開策として、イオンビックに施設借用が可能か確認したが店舗内のスペースがなく、駐車場は可能であるが天候悪化によるリスクがある為出来ないかと判断した。他の公共施設は今後の検討課題としたい。

# 産業支援について



長良 俊一



## 質問

地方創生臨時交付金にて、平群町で生活を営み、事業継続を模索されている方々を支援して頂いていると感じています。平群町の基幹産業や観光資源を活かし、町独自のアピールが必要と考えます。今後の見通しについて聞かせてください。

## 答弁

新型コロナウイルス感染症の影響により、奈良県では近年増加傾向で推移してきた国内外の観光客数が減少し、観光産業関連では、影響が出ている状況です。当分の間は、国が示した新しい生活様式を踏まえた上で、新しい観光を確立することが必要となります。本町としましては、町単独ではなく地域が一体となって新たな生活様式に沿った整備が重要と考えます。

各地域を広域的に巡る誘客多角化に対応できるように取り組み始めているところであります。



# 町民すべてを対象にした プレミアム商品券に



植田 いずみ



## 質問

新型コロナウイルス感染症対策の第2弾として、暮らしを守る支援策の一つとして、プレミアム商品券の発行がありますが、基準日を設けて案内を送り、コンビニやネットでのクレジット決済で後日商品券を郵送するとの説明がありました。しかしながら、すべての住民を対象とするの



であれば、基準日以降に入入されて平群町民となられる方や出生届によって町民となる子ども達もその対象として対応すべきではないでしょうか。

## 答弁

10月1日を基準日として、住民基本台帳を基に11月初旬頃から全住民を対象に引換はがきを送付予定。11月初旬から令和3年1月中旬頃までに町内数カ所の販売場所でハガキによる商品券(セット額面5千円分を2千500円で販売1人2セットまで)の交換と使用可能店舗(現在調整中)での利用。  
また基準日以降の商品券販売期間内に、転入・出生届によつて住民となった方も対象とし、住民生活課の窓口で届が出された時にプレミアム商品券の案内をし、観光産業課での引換はがきの発行、もしくは商品券の販売を行います。

# 櫛原地区のメガソーラー 建設計画について



山口 昌亮



## 質問

① 町との事前協議の段階で計画を住民に知らせなかったのはなぜか。

- ② 町主催の住民説明会を開催すべき。
- ③ 災害や事故等が起きた場合の補償の担保を。
- ④ 新八ザードマップに沿った調整池に変更するよう指導を。
- ⑤ 町道3kmに埋設する高圧送電線。ルート上の自治会や子ども会などから反対の声があがっている。
- ⑥ 地元同意なしに町道の占

## 答弁

用許可、使用許可をだせるのか。地上架線にするよう指導を。

- ① 事前協議の段階で議会に知らせるべきだった。深く反省している。
- ② 民間開発の住民説明会は事業者が行うもので、町行政は基本的に住民説明会はしないことになっている。
- ③ 行政の裁量権を超えての指導は厳しいが、防災面、調整池の管理、20年後のパネルの処理、植林など

細部にわたって実効性のある協定を結ぶ。

- ④ 新八ザードマップの最大雨量は大和川の氾濫想定基準で開発基準とは違う。現計画の調整池は県の指導に基づいた設計となっている。
- ⑤ 法令に基づいて町が占有許可し、地元同意は必要ない。使用許可は警察の判断になる。



# 地方創生総合戦略の 今後について



下中 一郎



## 質問

創生総合戦略は、本町における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを踏まえて、平成27年から令和元年度までの5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。第5次総合計画との相乗効果を生み出すべく立てられたもので、この5年間、本計画をもとにまち



づくりが進められてきました。

本計画も令和元年度で終了し、クリアした施策もあり、全く上昇傾向にないものもある。この達成状況を検証し、本計画を総括することにより、次なる計画の指標となつてくると考えます。見直しも含めて第2期総合戦略に取り組む必要があると考えるが、今後の予定はどのようなようになっていくか。

## 答弁

これまでの取り組みの実施状況や検証結果、国が示す基本方針等を踏まえて改訂を行うものであるが、施策、事業の継続性を考慮し、現行の枠組みである4つの基本目標を引き続き維持することを基本と考えている。

令和4年度で期間満了となる第5次総合計画との関連性も踏まえ、現行の総合戦略の期間延長による改訂について検討したい。

# コロナ感染防止に伴う ごみ収集について



山本 隆史



## 質問

町民の皆さまの日常生活から排出されるごみを収集して頂いている作業員を、新型コロナウイルスの感染から守るためにどのような取り組みを実践されていますか？

## 答弁

従来から収集作業時にはゴム手袋を支給し、収集時の装着を義務付けていますが、新型コロナウイルス感染予防として、マスクの着用及び防護メガネを支給しています。

また、収集から戻りましたら、アルコールスプレー消毒や収集車内の定期的な消毒を行っています。

町民の皆さまへは本年5月の広報紙で、新型コロナウイルス感染症対策としての「ごみの捨て方」をお願ひしております。

マスクやティッシュなどの直接体液に触れるごみについては、一旦個別に袋に入れて頂き、ごみが外に出ないように口をしつかり縛り、それを指定ごみ袋に入れて頂くようお願いしております。

本年4月の緊急事態宣言発令後には、収集車への乗員を3名から2名に減員し、1名は自宅待機を行い、クラスター感染予防を行いました。



# 小規模住宅団地開発に伴う環境整備について



稲月 敏子



## 質問

近年、平群町でも地価の下落や駅近の利便性から平群駅周辺の小規模住宅団地開発が増加。多くは元農地、公共下水道未設置地域も多く、周辺には用水路も多いのも実状です。これらの住宅には子育て世帯の比率が高く、生活環境についての問題が発生しています。

①用水路に、転落防止の柵やみぞ蓋がない所もあり、小児や障害者、高齢者が発生しています。



にとつて、また豪雨増水時はより危険。

②近隣の排水等が用水路を経由して団地内に流れ臭気、害虫の発生。

③開発地内道と接する町道の舗装の傷みがひどい。

④下垣内東住宅(平群駅東・線路沿い)裏側通路周辺の未整備(用水路柵、橋無欄干、未舗装)による危険性。

都市計画上のこのような状況をどのように考え、事業者への指導がどのようにされているのか、改善見通し、今後の方策は。

## 答弁

下垣内当該住宅周辺の用水路にはみぞ蓋や転落防止柵の設置、北側通路(こすし)は橋は手すり、用水路の柵については地元自治会と協議する。

住みよい環境を確保できるよう、事業者には事前協議の段階で指導をしていく。

# 町内道路の維持補修・歩道整備について



山田 仁樹



## 質問

町管理道路の整備不備は、道路の凹凸による騒音振動、歩道の不具合・不陸による転倒の危険や車椅子や押し車の通行等に大きな支障を及ぼすという、町民の日常生活と密接な関係にあり、住民の安心・安全を守るため、道路整備、維持補修は計画的、継続的に進める必要があります。

①厳しい財政状況の中、国庫補助も活用しながらの道路維持補修計画はどの

のようにお考えか？

②歩道整備、バリアフリー化の計画はどのように考えておられるのか？

③緑ヶ丘の歩道整備は当初のメイン道路から西側バス路線の整備工事を先行されるようになったが、今後どのような計画で進められるのか？

## 答弁

①道路の安全確保は管理者の責務であり、今後とも計画的継続的に実施できるように必要財源の確保に

努めて参りたい。

②今後の歩道改修は要望頂いている緑ヶ丘・若葉台・椿ヶ丘等順次、国の補助等財源を確保し整備して参りたい。

③令和2年度で緑ヶ丘バス路線の歩道改修工事が完了。今後メイン道路の未整備区間、約400メートルの財源確保に努め、整備して参りたい。



# ふれあい収集の状況と今後の推移について



岩崎 真滋



## 質問

「ふれあい収集」は一定の要件のもと、一人暮らしの高齢者の方や障害をお持ちの方への生活支援として、集積所へごみを持ち出すことが困難な方に対して、町が戸別にごみ収集を行い、あわせて、町民の方とのコミュニケーションと安否を確認することにより「安全・安心のまちつ



くり」に寄与する、平成23年から始まった重要な制度である。

平群町では65歳以上の高齢者の割合が37.8%と、本格的な高齢化を迎える中で、この制度がどのように推移していくのか、現状と将来の展望や見通しは?

また、家庭環境や健康状態などにより、ごみの排出が困難な方がおられた場合、運用により制度の利用が可能となるのか。

## 答弁

平成23年4月から本年8月までの延べ申請件数は165件、内、現在の利用件数は74件であり、人口推移を見る中で、今後、一人暮らしの高齢者が増加傾向にあり、将来、制度利用者も増加すると認識している。

また、この制度については、申請があった時点で、職員が面談等を行い、利用者の実情に即した対応を行っている。

# オンライン授業が実際に 行える時期について



井戸 太郎



## 質問

平群町では、現在、オンライン授業の実践は、まだまだ難しい。しかし、ウィズコロナの時代で、必ず越えなければならぬ問題。国の財政的な後押しもあり、実現に近づいた。

保護者は、当たり前前にネット環境がある若い世代。迅速にオンライン授業が導入できていないことに、苦情や不満が相次いでいる。

そこで、現在の達成状況とこれからの期的プ

ロセスを示していただきたい。

- ①ハード面について  
各学校のWiFi設備、マイク、カメラ、配信に関する設備、各家庭への設備貸し出し等
- ②ソフト面について  
教師が実際に授業をできる体制づくり等
- ③トータルでみた実践可能な時期について

## 答弁

- ①端末は9月末に納入予定。各校のWiFi設備等は、8月に設置業者を決定。計画的に整備中。
- ②ICT指導教員による授業指導。オンライン会議実施。学校教員が9月からの県主催のオンライン研修に参加する。
- ③設備の整備進捗に応じ、実現に向け、段階的に実績を積み重ねていきたい。



# お知らせ

## 平群町議会BCP（業務継続計画）に基づく 防災訓練が行われました!!



(平群町議会災害対策支援本部設置の様子)

令和2年10月2日 午前8時30分に平群町で震度6強を記録する地震が発生したという想定で、①安否確認訓練、②平群町議会災害対策支援本部の設置、③全議員の参集訓練を行いました。

訓練を行ってみて、各議員より意見が出され、今後の検討課題が見えてきました。

議会BCPが5月に策定されて初めての防災訓練でしたが、もしもの時に備え、危機意識を高める観点から大変有意義な訓練となりました。



## 平群中学校の制服が 新しくなります!! (令和3年4月 新中学1年生より)

## 議会報告会・先進地視察 の中止について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止することと決定しました。

## 編集後記

憎き新型コロナウイルス感染症の影響で、恒例の町内行事等がことごとく中止・延期になり、本紙の表紙を飾る写真や町の話題も、そろそろネタが尽きそうです。そこで憎き「コロナ」に句。「いつのロカ」「ワクチン投与で」「倍返しだ〜」ご愛読の皆さまの心が弾むような議会だよりになるよう、編集委員一同、尽力して参ります。今回の議会だよりは、主に令和元年度平群町の各決算について記載しております。元年度の一般会計歳入歳出決算は、3年連続した赤字から脱却し、黒字へ転換しました。町行政の内部努力も去ることながら、各ボランティア団体や町民の皆さまが「協働によるまちづくり」の精神で、財政負担軽減に大きく貢献していただきました。結びに、インフルエンザとの同時流行には、十分お気を付けください。 山本 記